

教科	国語	科目	論理国語	学年	3年（普通科、園芸クリエイト科）	単位数	2
教材	教科書	新編 論理国語			出版社名	大修館書店	
	副教材	常用漢字クリア（尚文出版）					

学習の目標	1	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けます。
	2	論理的、批判的に考える力を伸ばし、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを深めます。
	3	言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとする態度を養います。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第Ⅱ部：論理を活用する 1 自己を見つめて探求する力	○ 読み取ったことをふまえて、自分の将来について考えを深めます。	中間 考査 期 末 考 査
	5月	2 思考を深める 和の思想、間の文化 ミロのヴィーナス	○ 筆者の主張と、それを支える根拠の関係を吟味します。	
	6月	3 社会に向かって 志望先への提出書類 志望理由書を書こう	○ 必要な情報を集め、それらを適切に結びつけて、相手の印象に残る志望理由書を書きます。	
	7月	自己推薦書を書こう	○ 自分を客観的に見つめ、材料を膨らませて、説得力のある自己推薦書を書きます。	
2 学期	8月	4 視点を変えて 人類の進化から考える「心」の誕生 ロボットに心はあるか	○ 複数の文章を比較・分析しながら読み、考えを深めます。	中間 考査 期 末 考 査
	9月	クオリアと心	○ 具体例と主張の関係をとらえ、自分の意見をもち、独特の概念や筆者の主張を的確にとらえます。	
	10月	6 現代を考える 政治の本質 「である」ことと「する」こと	○ 筆者の主張をふまえて、現代社会についての考えを深めます。	
	11月	7 未来に目を向けて 人口減少社会の到来 未来の地図帳 エネルギー耕作型文明への転換	○ 対比の役割を意識して本文を読み、筆者の主張を的確につかみます。 ○ 日本社会や世界が抱える課題に関心を持ち、考えを広げたり深めたりします。	
12月		○ 対比の役割に注意して筆者の主張を的確につかみ、自分の考えをもちます。	期 末 考 査	
3 学期	1月	豊かさにつながり	○ 論理の展開に注意して筆者の主張を的確につかみ、自分の考えをもちます。	学 年 末 考 査
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができている。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度が身に付いている。

評価の方法	定期考査の得点と授業時の活動や発言、提出課題、小テスト等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 予習をしっかりとしましょう。配布されたプリントは、家庭で自分の力で解きましょう。 2 忘れ物をせず、授業に集中しましょう。忘れ物をすると意欲と理解力が低下します。 3 考査前には、配布されたプリントを見直すなどして必ず復習をしましょう。
-----------	--

教科	国語	科目	古典探究	学年	3年(普通科 探究類型 理系)	単位数	2
教材	教科書	新編古典探究			出版社名	東京書籍	
	副教材	ダブルマスター古典文法+漢文句形					

学習の目標	1	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、伝統的な言語文化に対する理解を深めます。
	2	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばします。
	3	言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養います。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	古文編 II部 1 随筆を味わう	○ 作者のものの見方、感じ方、考え方を自分と関係づけながら読み取ります。	中間 考查
	5月	漢文編 II部 1 小話を読む	○ 平易な文章の内容を漢文特有の語や句法に注意して、的確に読み取ります。	
	6月	古文編 II部 2 歌物語を楽しむ	○ 歌物語の特色に注意して、作品に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取ります。	期末 考查
	7月	漢文編 II部 2 古詩を味わう	○ 内容や表現の豊かさを理解し、詩に詠まれた情景や心情を読み味わいます。	
2 学期	8月	古文編 II部 3 大鏡	○ 作品の特色に注意して、歴史物語を的確に読み取ります。	中間 考查
	9月	漢文編 II部 3 史記を味わう	○ 漢文特有の語や句法に注意して、登場人物の言動や人物像を的確に読み取ります。	
	10月	古文編 II部 5 作り物語を味わう	○ 他の作品や絵画との関係も踏まえながら、作り物語の内容を的確に読み取ります。	期末 考查
	12月	漢文編 II部 4 儒家と道家	○ 古代中国の様々な思想を比較し、人間の在り方について考えを深めます。	
3 学期	1月	古文編 II部 4 歌話・歌論を読む	○ 構成を考えながら歌論を読み、内容の解釈を深めます。	学年 末 考 査
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり、豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。
評価の方法	定期考查の得点と授業時の活動や発言、提出課題、小テスト等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 予習をしっかりとしましょう。配布されたプリントは、家庭で自分の力で解きましょう。 2 忘れ物をせず、授業に集中しましょう。忘れ物をすると意欲と理解力が低下します。 3 考查前には、配布されたプリントを見直すなどして必ず復習をしましょう。		

教科	公民	科目	政治・経済	学年	3年(普通科 探究類型、教養類型)	単位数	2
教材	教科書	政治・経済			出版社名	東京書籍	
	副教材	2024政治・経済ワークブック(愛媛県高教研地歴・公民部門編)					

学習の目標	1	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて必要な概念や理論を理解します。
	2	国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方を身に付けます。
	3	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養います。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 1節 民主政治の基本原則	○ 政治の役割や、社会契約説における政府と国民との関係性について理解します。	中間 考査 期 末 考 査
	5月	2節 日本国憲法の基本原則	○ 大日本帝国憲法および日本国憲法の特徴について理解します。	
	6月	3節 日本の政治機構	○ 国会、内閣、裁判所の権限や組織のしくみについて理解します。	
	7月	4節 現代政治の特質と課題	○ 議会制民主主義において政党が必要な理由や、日本の選挙制度の特徴について理解します。	
2 学期	8月	第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済	○ 経済体制にはどのようなものがあるか考察します。	中間 考査 期 末 考 査
	9月	2節 現代経済のしくみ	○ 家計および企業の経済活動や、各経済主体の相互関係について理解します。	
	10月	3節 日本経済の発展と現状	○ 日本経済の変遷と産業構造の変化について理解します。	
	11月	4節 福祉社会と日本経済の課題	○ 労働問題が発生する理由や、社会保障制度の発展と変化について理解します。	
	12月	第3章 現代日本の諸課題 第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治 1節 国際政治のしくみ	○ 日本の子育て支援の現状や、地域社会の現状について理解します。	
3 学期	1月	2節 複雑化する国際政治と日本 第2章 現代の国際経済 1節 国民経済と国際経済 2節 世界経済の現状と課題	○ 国際社会の秩序維持の要因や国際法の特徴について理解します。	学 年 末 考 査
	2月	第3章 国際社会の諸課題	○ 貿易の意義や現代の国際通貨体制の変遷、経済のグローバル化の進展や近年の国際金融の変化について理解します。	
	3月		○ 多文化共生をめぐる現状や貧困と開発援助の現状について理解します。	

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解しているとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に議論し、公正に判断して、合意形成や社会参画に向かおうとしている。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。
評価の方法	定期考査の得点と授業時の活動、課題レポート、授業ノート、単元ごとのまとめなどの提出物を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 授業の前に、教科書の予習(通読)をしましょう。 2 授業ノート作りを丁寧に行いましょう。分からないこと、疑問点は質問しましょう。 3 新聞やニュースなどで、時事問題に興味・関心を持ちましょう。		

教科	数学	科目	数学Ⅲ	学年	3年(普通科 探究類型 理系 選択)	単位数	4
教材	教科書	新編 数学Ⅲ			出版社名	数研出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解します。 2 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を身に付けます。 3 数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を養います。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第1章 関数	○ 分数関数や無理関数のグラフをかけるようにします。	
	5月		○ 極限の概念を身に付け、数列で無限大のイメージを持てるようにします。	
	6月	第2章 極限 第1節 数列の極限	○ いろいろな関数の極限を求められるようにします。	
	7月	第2節 関数の極限	○ 微分の考え方を理解し、導関数の計算ができるようにします。	
2 学期		第3章 微分法 第1節 導関数	○ 公式を用い、いろいろな関数の導関数を求めることができるようにします。	
	8月	第2節 いろいろな関数の導関数	○ 導関数を用い、接線の方程式を求めたりグラフがかけるようにします。	
	9月	第4章 微分法の実用 第1節 導関数の応用	○ 微分の考え方を応用し、方程式・不等式が解けるようにします。	
	10月	第2節 いろいろな応用	○ 積分の考え方に興味を持ち、置換積分や部分積分の計算ができるようにします。	
	11月	第5章 積分法とその応用 第1節 不定積分	○ 定積分の考え方を応用し、グラフで囲まれた部分の面積が求められるようにします。	
	12月	第2節 定積分 第3節 積分法の応用		期末考查
3 学期	1月			学年末考查
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察する力、事象を数学的に考察し、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。

評価の方法	定期考查の得点や授業態度、活動状況・課題・小テスト・プリントやノート等の提出物などを各学期で観点別に評価します。それらの評価を用いて学年末の成績とします。
-------	---

学習へのアドバイス	1 学習内容全般において、数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図りましょう。 2 問題解決等を通して、物事を筋道立てて考えたり、具体的な手順などを考えたりしましょう。 3 指示された範囲の予習をきちんとし、問題意識をもって授業に臨みましょう。
-----------	--

教科	数学	科目	数学C	学年	3年(普通科 探究類型 理系)	単位数	2
教材	教科書	新編 数学C			出版社名	数研出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1	ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての理解を深めます。
	2	基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を身に付けます。
	3	数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を養います。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算	○ 向きと大きさを持つ量としてのベクトルの意味およびその演算について理解できるようにします。 ○ 位置ベクトルについて理解し、その活用ができるようにします。 ○ 空間図形の性質の考察などに活用できるようにします。	中間考查 期末考查
	5月			
	6月	第2節 ベクトルと平面図形		
	7月	第2章 空間のベクトル		
2 学期	8月		○ 複素数の演算がどのように表されるかを理解し、複素数の計算を図形を用いて考察する方法を学習します。 ○ 放物線、楕円、双曲線の定義や性質を理解し、それらを図示したり、問題の解決に活用したりできるようにします。	中間考查 期末考查
	9月	第3章 複素数平面		
	10月			
	11月	第4章 式と曲線		
	12月			
3 学期	1月			学年末考查
	2月			
	3月			

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	大きさと向きを持った量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。
評価の方法	定期考查の得点や授業態度、活動状況・課題・小テスト・プリントやノート等の提出物などを各学期で観点別に評価します。それらの評価を用いて学年末の成績とします。		
学習へのアドバイス	1 学習内容全般において、数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図りましょう。 2 問題解決等を通して、物事を筋道立てて考えたり、具体的な手順などを考えたりしましょう。 3 指示された範囲の予習をきちんとし、問題意識をもって授業に臨みましょう。		

教科	数学	科目	数学探究	学年	3年(普通科 探究類型 理系 選択)	単位数	4
教材	教科書	数学探究		出版社名	今治南高等学校		
	副教材	特になし					

学習の目標	1	関数と方程式、図形の性質、図形と方程式、ベクトルと数列についての理解を深めます。
	2	応用する力の向上を図り、事象を数学的に考察する能力を身に付けます。
	3	数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を養います。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第1章 関数と方程式(数I) 第1節 方程式と不等式 第2節 論理と集合	○数学Iの内容について復習し、その理解を深めます。 ○数学Aの内容について復習し、その理解を深めます。	中間 考查
	5月	第3節 2次関数と2次不等式 第4節 図形と計量 第5節 データの分析		
	6月	第2章 図形の性質(数A) 第1節 場合の数と確率		
	7月	第2節 図形の性質 第3節 整数の性質		
	8月	第3章 図形と方程式(数II) 第1節 式と証明 第2節 複素数と方程式		
9月	第3節 図形と方程式 第4節 三角関数 第5節 指数関数と対数関数 第6節 微分法と積分法			
10月	第4章 ベクトルと数列(数B) 第1節 ベクトル 第2節 数列			
11月				
12月	第5章 総合演習			
3 学期	1月			学年末 考查
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	関数と方程式、図形の性質、図形と方程式、ベクトルと数列の考え方に興味をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、関数と方程式、図形の性質、図形と方程式、ベクトルと数列における数学的な見方や考え方を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。

評価の方法	定期考查の得点や授業態度、活動状況・課題・小テスト・プリントやノート等の提出物などを各学期で観点別に評価します。それらの評価を用いて学年末の成績とします。
-------	---

学習へのアドバイス	1 学習内容全般において、数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図りましょう。 2 問題解決等を通して、物事を筋道立てて考えたり、具体的な手順などを考えたりしましょう。 3 指示された範囲の予習をきちんとし、問題意識をもって授業に臨みましょう。
-----------	--

教科	理科	科目	物理	学年	3年(普通科 探究類型 理系)	単位数	5
教材	教科書	物理			出版社名	実教出版	
	副教材	アクセスノート物理					

学習の目標	1	身近に見られる物理現象に興味・関心を持ちます。
	2	観察・実験を通して、物理学を探究する能力と態度を身に付けます。
	3	物理学の基本的な概念や原理・法則を理解します。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画	
1 学期	4月	第1章 さまざまな運動 1節 平面内の運動と剛体のつり合い	○速度・加速度について学びます。 ○落体の運動について学びます。 ○剛体にはたらく力について学びます。	中間 考查	
	5月	2節 運動量 3節 円運動と単振動	○運動量と力積について学びます。 ○運動量保存則について学びます。 ○等速円運動について学びます。		
	6月	4節 万有引力 5節 気体分子の運動	○慣性力について学びます。 ○気体の法則について学びます。 ○気体の分子運動について学びます。		期末 考查
	7月	第2章 波 1節 波の伝わり方 2節 音	○波と媒質の振動について学びます。 ○正弦波の伝わり方について学びます。 ○音の伝わり方について学びます。		
2 学期	8月	3節 光	○光の性質とレンズについて学びます。 ○光の干渉と回折について学びます。	中間 考查	
	9月	3章 電気と磁気 1節 電荷と電場	○静電気力と電場について学びます。 ○コンデンサーについて学びます。 ○オームの法則について学びます。		
	10月	2節 電流 3節 磁場と電流	○直流回路について学びます。 ○電流のつくる磁場について学びます。 ○電流が受ける力について学びます。		
	11月	4節 電磁誘導と電磁波	○電磁誘導の法則について学びます。 ○交流の発生について学びます。		
3 学期	12月	4章 原子 1節 電子と光 2節 原子と原子核	○粒子性と波動性について学びます。 ○原子の構造について学びます。	期末 考查	
	1月	終章 物理学が築く未来	○現代物理学の最先端について学びます。		学年 末 考 査
	2月				
	3月				

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	観察・実験などを通して、自然の物理的な事物・現象に対して、基本的な概念や、原理・法則を理解し、身に付けている。 自然の物理的な事物・現象に関して観察・実験技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付けている。	自然の物理的な事物・現象に問題を見だし、実験・観察などを行うとともに、物理学的に探究する能力と態度が形成され、基本的な概念・法則を理解し、科学的な自然観をもつことができている。 実験の過程や結果及びそこから導き出した考えを的確に表現することができる。	自然の物理的な事物・現象について関心、探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。

評価の方法	定期考查の得点と授業時の活動や発言、提出課題、小テスト等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 授業に集中して取り組みましょう。 2 問題集を活用し、知識の定着を図りましょう。 3 定期考查には全力で臨みましょう。
-----------	---

教科	理科	科目	化学	学年	3年(普通科 探究類型 理系)	単位数	4
教材	教科書	化学 Vol.1 理論編 Vol.2 物質編			出版社名	東京書籍	
	副教材	化学基礎・化学問題集(高教研理科部会化学部門編)					

学習の目標	1	化学的な事物・事象に関わり、観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
	2	化学的な事物・事象を観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
	3	日常生活や社会の化学的な事物・事象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画	
1 学期	4月	4編 無機物質 1章 周期表と元素	○非金属元素の単体や化合物の性質について学びます。 ○金属の単体や化合物、金属イオンの性質について学びます。 ○遷移元素の単体や化合物について系統的に理解し、検出方法や分離方法について学習します。 ○有機化合物の一般的な性質や構造を学びます。	中間 考査	
	5月	2章 非金属元素の単体と化合物 3章 典型金属元素の単体と化合物			
	6月	4章 遷移元素の単体と化合物 5章 金属イオンの分離と確認			期末 考査
	7月	5編 有機化合物 1章 有機化合物の特徴と構造 2章 炭化水素			
	8月	3章 アルコールと関連化合物			○有機化合物の分類の方法を学び、炭化水素、アルコールとエーテル、アルデヒドとケトン、カルボン酸、油脂等について学習します。 ○芳香族化合物の特徴と性質について学びます。 ○糖類やアミノ酸、タンパク質の構造や性質について学びます。また酵素や核酸など生体内における化学変化についても学習します。 ○合成繊維や合成樹脂の構造と性質について学びます。
2 学期	9月	4章 芳香族化合物			
	10月	6編 高分子化合物			
	11月	1章 高分子化合物とは何か 2章 天然高分子化合物	期末 考査		
12月	3章 合成高分子化合物				
3 学期	1月	7編 化学が果たす役割 1章 化学的性質の利用と工業的製法 2章 未来を創る化学		学年 末考査	
	2月				
	3月				

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	実験・観察などを通して、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	主体的に関わり、見通しをもった振り返りなど、科学的に探究しようとしている。

評価の方法	定期考査の得点と実験ノートや課題等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 授業には前時の復習をして臨みましょう。 2 復習や授業で生じた疑問点は質問するなど早い段階で解決しましょう。 3 課題や小テストで知識や技能の定着を図りましょう。
-----------	---

教科	保健体育	科目	体育	学年	3年(普通科、園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	現代高等保健体育			出版社名	大修館書店	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わいます。
	2 課題を発見し、その解決に向けて思考し判断する態度を育てます。
	3 公正、協力、責任、参画、一人一人の違いを大切にする資質や能力を育てます。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	1 体づくり運動	○ 南校体操、補強運動や集団走を正確に身に付けます。	中間 考查 期末 考查
	5月	2 陸上競技	○ 集団行動を通し、協力、責任、参画に対する意欲を高めます。	
	6月	3 球技 I	○ 体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わいます。	
	7月	4 体育理論	○ バレーボール、ソフトボール、卓球、テニスの中から選択して活動します。	
2 学期	8月	5 体づくり運動 ダンス	○ 豊かなスポーツライフの設計について学びます。	中間 考查 期末 考查
	9月			
	10月	6 陸上競技	○ 運動会の集団演技の練習を行う中で、集団の中での協調性を養います。	
	11月	7 球技 II (その①)	○ 長距離走を行うことにより、体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わいます。	
	12月	8 体育理論	○ バasketボール、サッカー、卓球、テニスの中から選択して活動します。	期末 考查
3 学期	1月	9 球技 II	○ 豊かなスポーツライフの設計について学びます。	学年 末 考 査
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	運動の合理的、計画的な実施を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能が身に付いている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決方法を思考・判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

評価の方法	授業態度、出席点、スキルテスト、記録、定期考查の得点等日々の学習活動について、観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 「鍛」を目標に体力・気力の充実を図り、たくましく生きる力を身に付けていきましょう。 2 積極的に参加し、自主的に協調性をもって行動しましょう。 3 一人一人が健康と安全に留意して臨みましょう。
-----------	--

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅢ	学年	3年(普通科 探究類型、教養類型)	単位数	4
教材	教科書	BIG DIPPER English Communication III		出版社名	数研出版		
	副教材	WORD-MEISTER ワードマイスター 英単語・熟語 1700 (第一学習社)、チャート式 BIG DIPPER ビッグ・ディッパー 高校英語 (数研出版)					

学習の目標	1	英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を伸ばします。
	2	物語や説明文などを読んで、素早く情報を読み取り、発信できる力を育成します。
	3	つながぎの言葉やパラグラフの構成を意識して、まとまりのある文章を読んで理解する力を養います。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	Section I Lesson 1~Lesson 14	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々なジャンルの英文を読みます。 ○ 英文の構成や、読み方のポイントを学びます。 ○ つなぎ表現や言い換え表現を学びます。 ○ 新聞記事やサイトのレビューなどから必要な情報を読み取ります。 	中間 考查
	5月			
	6月			
2 学期	7月	Section II Lesson 15 Instant Replay in Sports	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツの判定に用いられる新しいテクノロジーについて読みます。 ○ 消滅の危機に瀕している世界の言語について学びます。 ○ 「環境に良い」と思われている行動を改めて見つめ直します。 ○ ケニアの貧しい子供たちのために開発された「成長する靴」について学びます。 ○ 「フェイクニュース」という誤った情報を見分ける方法を学びます。 ○ 昔から人類の発展とともに広まってきた感染症について学びます。 	期 末 考 査
	8月			
	9月	Lesson 16 Endangered Languages		
	10月	Lesson 17 Is This the Right Way to Protect the Environment? Lesson 18 The Shoe That Grows		
	11月	Lesson 19 Fake News		
3 学期	12月	Lesson 20 Human Society and Infectious Diseases	<ul style="list-style-type: none"> ○ 顔認証システムで変わる現代の生活や社会について討論します。 	学 年 末 考 査
	1月	SECTION III Lesson 21 Having a Discussion		
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 日常的话题や社会的な話題について書かれた文の内容を捉える技能を身に付けている。 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して表現する技能を身に付けている。	日常的话题や社会的な話題について、必要な情報を読み取ったり聞き取ったりして、書き手や話し手の意図や概要、要点を捉えている。 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手、読み手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて表現し、コミュニケーションを図ろうとしている。
評価の方法	定期考查の得点と、授業における各活動や課題等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 1 予習・授業・復習のサイクルを大切にし、積極的に英語を使うことに努めましょう。 2 アクセントやイントネーションに気を付け、繰り返し発音・音読練習を行いましょう。 3 文法事項や重要表現を理解し、英語で表現する練習をしまししょう。 		

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅲ	学年	3年（普通科 探究類型理系）	単位数	2
教材	教科書	MY WAY Logic and Expression III			出版社名	三省堂	
	副教材	チャート式 BIG DIPPER ビッグ・ディッパー 高校英語（数研出版）					

学習の目標	1 英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を伸ばします。
	2 グローバル社会の中で、人としてのものの見方や考え方を養い、自ら考えて表現できる力を養います。
	3 世界のさまざまな言語や民族の個性を学び、国際理解のための資質を養います。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画		
1 学期	4月	Unit 1 Lesson 1 Survey Results Lesson 2 Writing an Email	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調査結果をもとに、様々な種類の動詞を使って自分の提案を発表したり、自分の希望を伝えるメールを書きます。 ○ グラフやウェブサイトのレビューをもとに自分の提案を書いたり、環境を守る活動について発表したりします。 ○ 比較表現や関係詞を学んで、自分の提案を発表します。 ○ 関係詞や仮定法を使って、メッセージや提案を書きます。 	中間 考查		
	5月	Lesson 3 Writing a Blog Lesson 4 Describing Activities				
	6月	Lesson 5 Suggesting What to Buy Lesson 6 Making a Proposal			期末 考查	
	7月	Lesson 7 Making a Speech Lesson 8 Writing an Invitation				
	2 学期	8月		Lesson 9 Suggesting a Solution Lesson 10 Talking about the Future	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞記事やほかの人の発表をもとに、代名詞や前置詞を使って自分の提案を発表します。 ○ 入国審査時の会話を学びます。 ○ 海外でのルールを考えます。 ○ 日本文化の説明の仕方を考えます。 ○ 電話の掛け方を学びます。 ○ 日程調整時に使う表現を学びます。 ○ ツアーの内容について会話をします。 ○ レストランでの会話を学びます。 ○ 病院での説明の仕方を学びます。 	中間 考查
		9月		Unit 2 Situation 1 At the Airport Situation 2 Homestay		
		10月		Situation 3 Gifts from Japan Situation 4 Lost Items Situation 5 Scheduling a Meeting		
		11月		Situation 6 Visitor Information Center Situation 7 At a Restaurant		
12月		Situation 8 At the Doctor's Office 復習	期末 考查			
3 学期		1月	Situation 9 Buying a Ticket Situation 10 At a Café	<ul style="list-style-type: none"> ○ 価格に関する英語を理解します。 ○ アメリカの印象について読みます。 		学年 末 考 査
		2月				
		3月				

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	外国語の音声や語彙、表現、文法言語の働きなどについて理解を深めている。 外国語の音声や語彙、表現、文法言語の働きなどの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報を整理しながら、外国語で適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手に配慮しながら主体的、自律的に外国語を用いて表現活動を行おうとしている。
評価の方法	定期考查の得点と、授業における各活動や課題等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 1 予習・授業・復習のサイクルを大切にし、積極的に英語を使うことに努めましょう。 2 アクセントやイントネーションに気を付け、繰り返し発音・音読練習を行いましょう。 3 文法事項や重要表現を理解し、英語で表現する練習をしまししょう。 		